

別表 6

自主検査チェック表

実施項目及び確認箇所					検査結果
建物構造	(1) 柱・はり・壁・床 コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。				
	(2) 天井 仕上材に、はく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。				
	(3) 窓枠・サッシ・ガラス 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。				
	(4) 外壁・ひさし・パラペット 貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上り等が生じていないか。				
避難施設	(1)	避難通路			
		① 避難通路の幅員が確保されているか。			
	② 避難上支障となる物品等を置いていないか。				
	(2)	階段			
		階段室に物品が置かれていないか。			
		(3) 避難階の避難口（出入口）			
① 扉の開放方向は避難上支障ないか。					
② 避難階段等に通じる出入口の幅は適切か。					
③ 避難階段等に通じる出入口・屋外への出入口の付近に物品その他の障害物はないか。					
火気使用設備器具	(1)	厨房設備			
		① 可燃物品からの保有距離は適正か。			
		② 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。			
	③ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。				
	(2)	ガスストーブ、石油ストーブ			
		① 自動消火装置は、適正に機能するか。			
② 火気周囲は、整理整頓されているか。					
電気設備	(1)	電気器具			
		① コードの亀裂、老化、損傷はないか。			
		② タコ足の接続を行っていないか。			
③ 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。					
その他	危険物				
① 容器の転倒、落下防止措置はあるか。					
② 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。					
③ 整理清掃状況は適正か。					
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火・防災管理者確認
構造関係 ○○○○ 避難関係 ○○○○		○年○月○日 ○年○月○日	火気使用設備器具 ○○ ○○ 電気器具 ○○ ○○	○年○月○日 ○年○月○日	

(備考) 検査を実施し、良の場合は○を、不備のある場合は×を、即時改修した場合は⊗を付する。
 なお、不備・欠陥がある場合には、直ちに防火・防災管理者に報告するものとする。

別表 7

消防用設備等自主点検チェック表

実施設備	確認箇所	点検結果
消火器 (○年○月○日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。	
	(2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。	
	(3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。	
	(4) ホースに変形、損傷、老化等がなく、内部に詰まりがないか。	
	(5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	
屋内消火栓設備 泡消火設備 (○年○月○日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。	
	(2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。	
	(3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。	
	(4) 表示灯は点灯しているか。	
スプリンクラー設備 (○年○月○日実施)	(1) 散水の障害はないか。	
	(2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。	
	(3) 送水口の変形及び操作障害はないか。	
	(4) スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。	
	(5) 制御弁は閉鎖されていないか。	
自動火災報知設備 (○年○月○日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。	
	(2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。	
	(3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。	
	(4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
避難施設 (○年○月○日実施)	(1) 避難に際し、容易に接近できるか。	
	(2) 格納場所の付近に物品等が置かれ、避難施設の所在がわかりにくくなっていないか。	
	(3) 開口部付近に書棚、展示台等が置かれ、開口部をふさいでいないか。	
誘導灯 (○年○月○日実施)	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。	
	(2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があつて、視認障害となっていないか。	
	(3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取り付け状態であるか。	
	(4) 不点灯、ちらつき等がないか。	
備考		
検査実施者氏名		防火・防災 管理者確認
○○ ○○		

(備考) 不備、欠陥がある場合には、直ちに防火・防災管理者に報告する。

(凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 ⊗…即時改修